

キャラクター名
嘉村 涼白

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ブラム=ストーカー		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	UGN支部長
	オプション		年齢	26	性別	男性
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	37 %	
出自	犯罪者の子	経験	力の暴走	邂逅	腐れ縁 (春日恭二)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	1	1			5	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	0	0	1			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	3	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
サイバーアーム	白兵	6r+4	8	LV+9		《特殊装甲義肢》《ハードワイヤード:マグネットコネティング×2》適用後。
	白兵	8r+4				《コンセントレイト:ブラックドッグ》+《アームズリンク》。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2			あんまりいらぬ気がしたのでグレードダウン

所持品	
コネ: UGN幹部 思い出の一品	

合計装甲: 2 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器 (トイボックス)	P	N		
"黒くぬれ!"黒崎剛道	P	憧憬	N	恐怖
嘉村 時雨	P	庇護	N	不安
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2							
効果:								
サイバーアーム	1	-	常時	-	-	-	-	
効果: 素手データを変更								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	-		
効果: カバーリング。								
磁力結界	4	2	オート	至近	自身	-		
効果: ガード値を「+LV」d。								
アームズリンク	2	2	Xジャー	武器	-	〈白兵〉	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個								
渴きの主	1	4	Xジャー	至近	単体	〈白兵〉	-	
効果: 装甲値無視。攻撃が命中した場合HPを「LV+4」。								
赤河の支配者	2	2	マイナー	-	自身	自動	-	
効果: 受けるダメージを-[1D+Lv*2]点								
タッピング&オンエア	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

だれかのために
「多分。もう、かつこよく死にたいとは思えませんから」

よしむら・すずしろ。
現在はB市支部長を務める、元ストレンジャーズ隊員。もしくは、元FHチルドレン。

気が弱いが善人。他者のご機嫌伺い、ごますり、愛想笑いが得意技。
態度とは裏腹に自分のやるべきことは決して譲らない頑固者。
有事は他者に頼らず自分の力で動き出すだけの意志の強さを見せる。というか、ヤケになると突拍子もない行動を起こす。

FH所属の研究者の息子にして、その実験体。
ブラックドッグシンドロームの発現をシネグイド拡散後すぐに認められ、何も知らぬ子どものうちからその四肢は冷たい機械義肢に換装されている。
研究所で暮らす他の子どもも似たようなものだったことが救いだった。愛されるための戦いに疑問を覚えることはなかった。
親に認められたい一心で自分にとっての「日常」を――兵器となるための訓練を何も知らずに受け続けていたが、UGNより先に政府へ研究所の存在が露見したことにより、防衛隊ストレンジャーズによる攻略作戦の対象となる。
シネグイドへの理解の薄い当時、機械義肢の存在が重要視されたことによって敢えて保護下に置かれ、若くしてストレンジャーズの所属となる。

『黒』――つまりは社会になんの有用もたらさぬはぐれオーヴァードやジャーム、自分とまったく同じだったものたちを消去する仕事を心を殺しこなしてきたが、

『知らなかったんだ……なにも。なにも。かも。それが正しいことじゃないって、あなたたちは、教えてくれなかった……』